

## 【授業科目】 カウンセリング Counseling

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
加藤 美紀	2年次前期	選択	1	15	講義			可
授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対するフィードバック方法	<p>カウンセリング(話を聴く)とはどういうことか。コミュニケーションの中で行っている「聴く」という作業と、「伝える」という作業についての学びを深め、看護者として患者様に寄り添うということや、心のケアについて学習していきます。</p> <p>毎回講義内に学びについてリアクションシート(講義のまとめ、感想、意見、質問など)を書き、提出してもらいます。</p> <p>課題に対するフィードバック方法/リアクションシートに書かれたすべての疑問、質問には次回以降の講義で説明します。</p>							
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー④ 幅広い視野でヘルスケアシステムにおける看護の専門性ならびに関連する多職種の機能・役割を理解し、連携して地域社会に貢献することができる。の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>①話を聴くときの構えができる。                  ②講義で学習したことを実習や生活に活かすことができる。                  ③自分の意見や感想を他者に伝わるように表現することができる。                  ④「今、ここ」で起きている事象について客観的に捉えることができる。</p>							
時間外学習に必要な内容・時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義で体験したことを言語化し、それを日常生活に取り入れて再体験すること(120分)</li> <li>・日頃から自分の感情や物事の受け止め方などを客観的にみるよう意識すること(60分)</li> <li>・学校(日常)生活や将来など、困っていることを発表できるよう準備しておくこと(60分)</li> </ul> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回 心理学から臨床心理学へ</p> <p>第2回 カウンセリングとは一心理学的な傾聴について</p> <p>第3回 人と「かかわる」とは～関係づくり、コミュニケーションについて</p> <p>第4回 ロールプレイ (ペアを組み、カウンセリング的なコミュニケーションを体験する)</p> <p>第5回 コミュニケーションから見えてくるものを分析する</p> <p>第6回 集団でのカウンセリングとは</p> <p>第7回 ロールプレイ (グループでカウンセリング的なコミュニケーションを体験する)</p> <p>第8回 全体のまとめ</p>							全て加藤
評価方法 評価基準	<p>授業態度(ロールプレイへの状況、リアクションペーパー等) 40% 試験 60%</p>							
教科書	なし(授業内で必要に応じてプリント配布)			参考書等	なし(配布資料に記載)			
学生への助言等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「病は気から」といいますが、看護とは身体的なケアとともに心理的なケアも大切であることは既にご存じのことだと思います。心理的なケアとは何なのか?看護者として患者様の心に寄り添うために必要なカウンセリング技法や視点について学ぶことで、自分自身への理解を深めることも大切です。対人援助職としての人間関係のツールとなるコミュニケーションとは何かを再認識する機会になればと思います。</li> <li>・体験からの学びを重視していますので、ロールプレイには積極的に取り組んでください。</li> <li>・授業中は他者に迷惑となる行為(私語や飲食、携帯電話の使用など)は禁止します。(講義形態がオンライン授業などに変更があった場合は、授業計画も変更になる可能性があります。)</li> </ul>							